

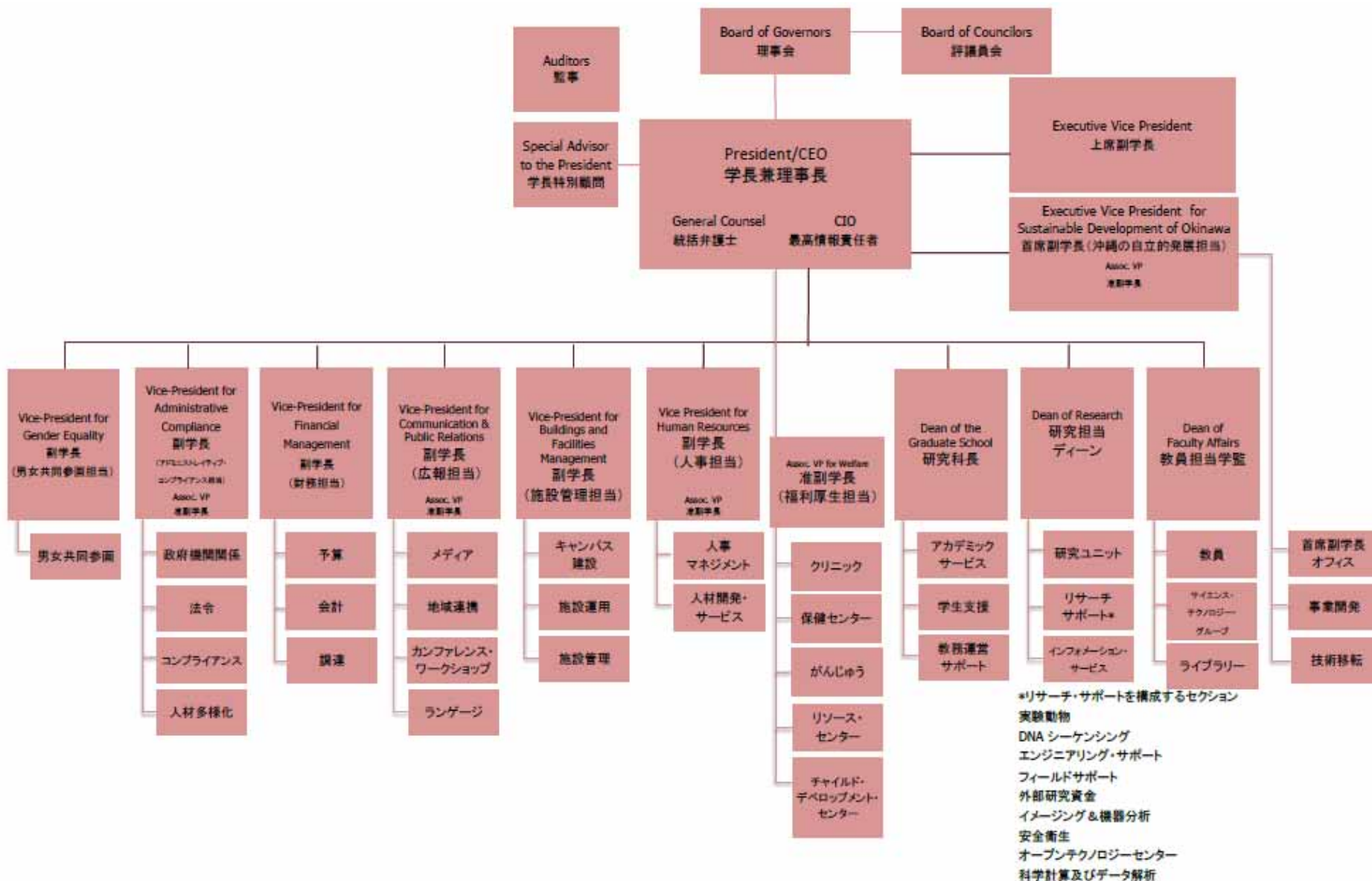
# OIST ピア・レビューの結果について (2015年7月)

## <OIST作成 参考データ等>

当資料は、ピア・レビューを行うに際して準備された参考資料等の一部を、  
関連する項目ごとに適宜まとめたものである。

# 質問項目 1 組織体制

## ○ 沖縄科学技術大学院大学学園 組織図



# 質問項目 1 組織体制

## 沖縄科学技術大学院大学学園 理事 (常勤2名、非常勤12名)

平成27年8月時点

 <p>ジョナサン・ドーファン 【理事長】(常勤) 元スタンフォード大学 線形加速器センター所 長</p>	 <p>ロバート・バックマン 【副理事長】(常 勤) 元米国国立衛生研究 所・神経疾患・脳卒中 研究所副所長</p>	 <p>安仁屋 洋子 琉球大学名誉教授</p>	 <p>有馬 朗人 元(財)日本科学技術 振興財団会長、武蔵学 園長、(元東京大学総 長、元文部大臣)</p>
 <p>カーティス・カラン プリンストン大学物理 学ディスティングィッ シュトプロフェッサー</p>	 <p>リタ・コルウェル メリーランド大学特別 教授、ジョンズ・ホプ キンス大学特別教授 (元全米科学財団長 官)</p>	 <p>ジェローム・フリード マン マサチュー セッツ工科大学教授 1990年ノーベル物 理学賞受賞</p>	 <p>小谷 元子 東北大学原子分子材料 科学高等研究機構長</p>
 <p>K. ヴィジェイ・ラガバ ン インド科学技術省ハイテ クノロジー-局局長、インド国 立生命科学研究セン ター所ディスティングィッ シュトプロフェッサー</p>	 <p>黒川 清 政策研究大学院大学ア カデミック・フェロー (元内閣特別顧問、元 日本学術会議会長)</p>	 <p>チェリー・マレイ ハーバード大学工学・ 応用科学研究科長・教 授</p>	 <p>尾身 幸次 NPO法人STSフォーラム理事 長(元内閣府特命担当 (沖縄及び北方対策担 当)大臣)</p>
 <p>尚 弘子 琉球大学名誉教授 (元沖縄県副知事)</p>	 <p>トーステン・ヴィーゼ ル ロックフェラー大学 名誉学長 1981年ノーベル生 理学・医学賞受賞</p>		

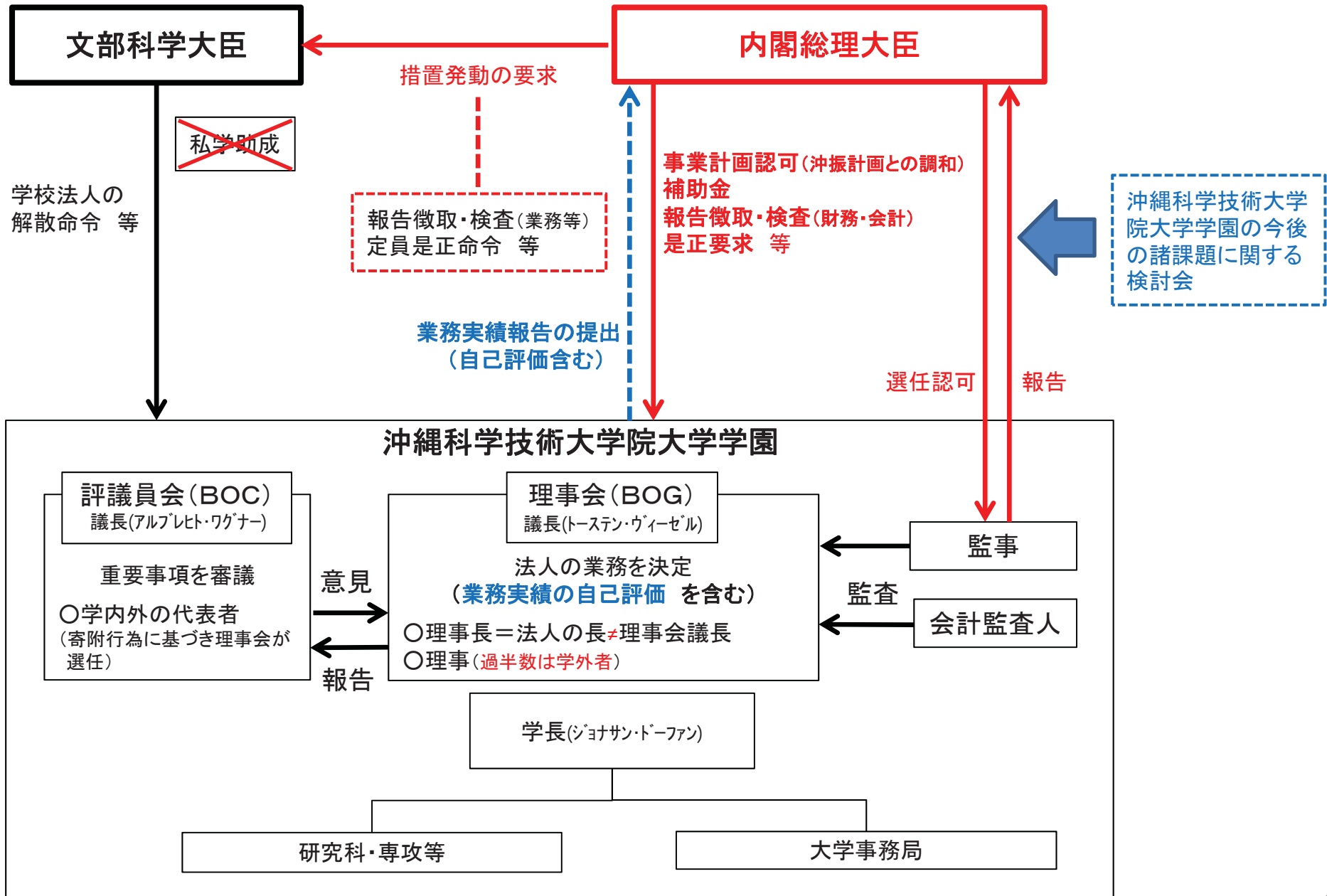
・敬称略

・ はノーベル賞受賞者。

・ は学園設立委員・運営委員。

(参考) 沖縄科学技術大学院大学学園の運営体制

黒矢印: 学校教育法、私立学校法等に基づくもの  
 赤矢印及び赤字: 学園法に基づくもの  
 青矢印及び青字: 法令に基づかないもの



## 質問項目2 幹部の採用

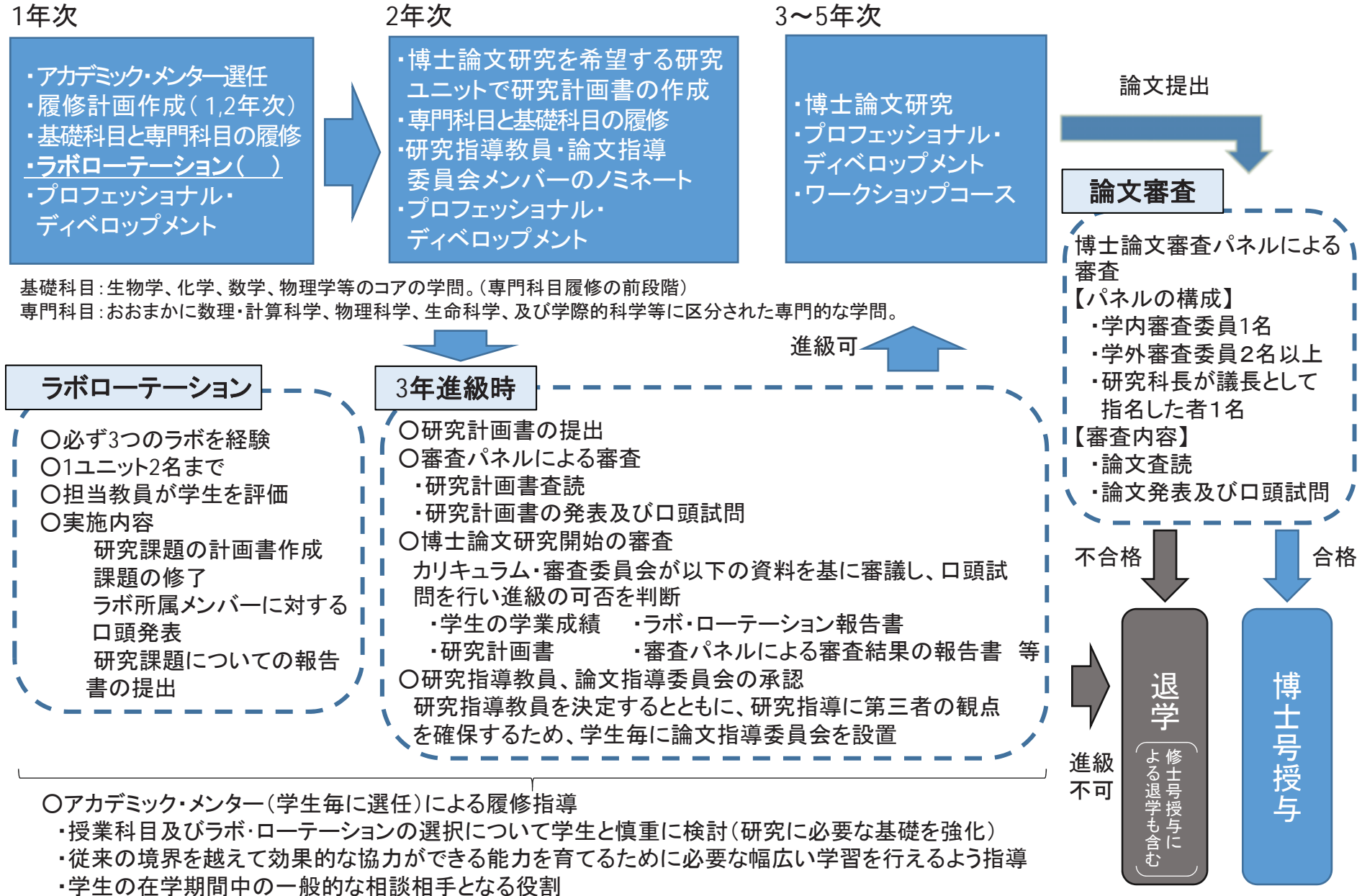
### ○ OIST幹部一覧

役職	氏名	主要経歴
理事長/学長	ジョナサン・ドーファン	カルフォルニア大学アーバイン校 素粒子物理学博士取得 スタンフォード大学線形加速器センター所長
副理事長/プロボースト(臨時) 首席副学長(沖縄の自立的発展担当)	ロバート・バックマン	ハーバード大学 化学博士取得 ハーバード大学医学部神経科学研究科 研究科長 米国国立衛生研究所・神経疾患・脳卒中研究所副所長
上席副学長	ジョージ・イワマ	ブリティッシュコロンビア大学 動物学博士取得 ノーザン・ブリティッシュ・コロンビア大学長
研究科長	ジェフ・ヴィッケンス	オタゴ大学 神経科学博士取得 オタゴ大学教授
教育担当学監	ケン・ピーチ	エディンバラ大学 物理学博士取得 ジョン・アダムス研究所加速器科学部門、オックスフォード大学、ロンドン大学 ロイヤルホロウェイカレッジ ディレクター オックスフォード大学 粒子線治療がん研究所 共同ディレクター
副学長(アドミニストレイティブ・コンプライアンス担当・ 人事担当)	久保真季	東京大学卒業 内閣府政策統括官(科学技術政策・イノベーション担当)付参事官 国立女性教育会館理事・事務局長
副学長(財務担当)	高梨桂治	イェール大学 経済学博士取得 KPMGピートマーウィック税理士法人シニア・マネージャー 福井大学理事・事務局長
副学長(施設管理担当)	ジョン・ディキソン	オークランド大学卒業、京都大学大学院研究生 日建設計プロジェクトマネージャー MGPA Japan LLG アジア部門最高執行責任者
副学長(施設管理担当)予定者	アリ・ガンジェロウ	東京大学 建築学博士取得 日建設計リアド事務所ゼネラル・マネージャー
副学長(広報担当)	ニール・コールダー	セント・アンドルーズ大学 英文学修士取得 国際熱核融合実験炉(ITER)広報部門長
副学長(男女共同参画担当)	マチ・ディルワース	カルフォルニア大学ロサンゼルス校 植物生化学・生理学博士取得 米国国立科学財団(NSF) 国際科学・工学オフィス ディレクター ハワイ大学ヒロ校 学長室シニア・アドバイザー
学長特別顧問	菅原寛孝	東京大学 物理学博士取得 高エネルギー加速器研究機構 機構長 日本学術振興会 ワシントン連絡センター長

# 質問項目3 教育体制及び方針・手順

## 質問項目7 博士課程プログラム

### ○ OISTの教育体制及び方針・手順



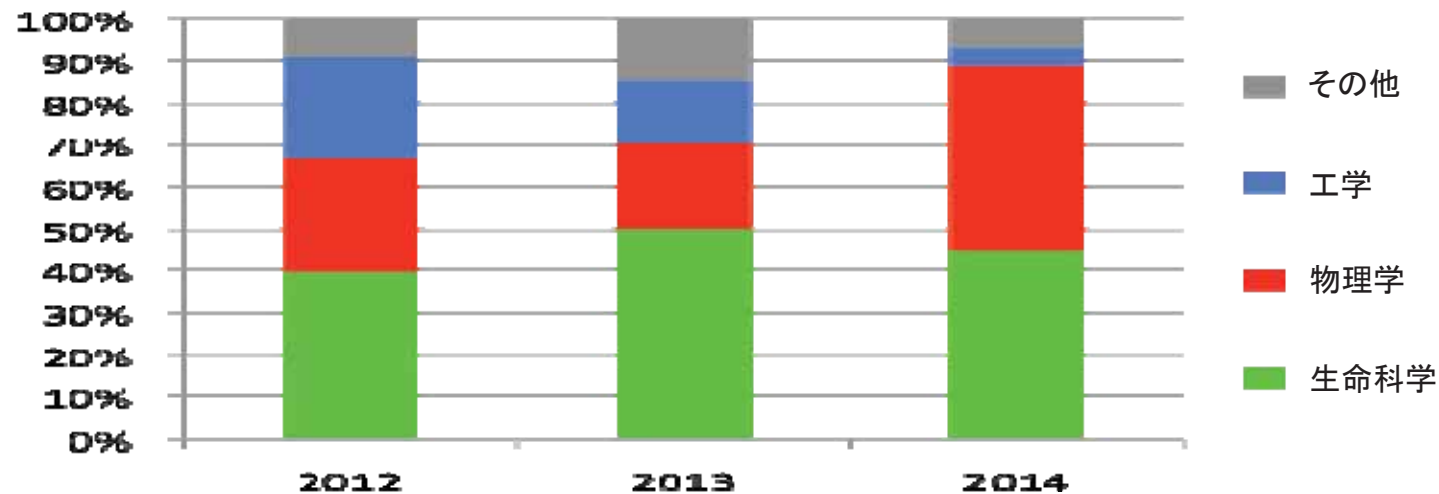
## 質問項目3 教育体制及び方針・手順

### 質問項目7 博士課程プログラム

#### ○ OISTの入試状況(2012～2015年)



#### ○ OIST入学者の専攻分野(2011～2014年)



# 質問項目3 教育体制及び方針・手順

## 質問項目7 博士課程プログラム

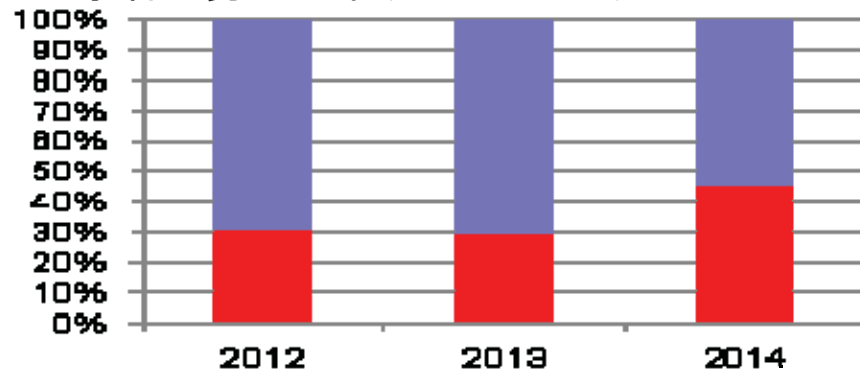
○ OIST入学者の出身地域(2012~2014年)



**【入学年次】**

- 2012
- 2013
- 2014

○ OIST入学者の男女比率(2012~2014)



青・・・男性  
赤・・・女性



## 質問項目3 教育体制及び方針・手順

### 質問項目7 博士課程プログラム

#### ○ OIST入学者の出身大学等

入学年	出身大学等	入学人数	専攻分野
2012	イエール大学(米)、中国科学院西双版納熱帯植物園(中)、新疆大学(中)、厦門大学(中)、早稲田大学、ウォーリック大学(英)、中国科学技術大学(中)、東京大学、タルトゥ大学(エストニア)、マンチェスター大学(英)、オスナブリュック大学(独)、電子科技大学(中)、ユニバーシティ・カレッジ・コーク(アイルランド)、カリフォルニア州立大学サンタクルーズ校(米)、ドレスデン工科大学(独)、セント・アンドルーズ大学(英)、琉球大学、ロチェスター工科大学(米)、オスナブリュック大学(独)、シンガポール国立大学(シンガポール)、国立東華大学(台)、南京大学(中)、名桜大学、京都大学、慶応大学、ジェイコブス大学(独)、インド工科大学カラグプル校(印)、情報科学芸術大学院大学、GIK科学技術大学(パキスタン)	34	生物学 10 生物医学 3 化学 1 コンピュータサイエンス 2 工学 8 数学 2 物理学 8
2013	チューリッヒ大学(スイス)、東京大学、オタゴ大学(ニュージーランド)、リエージュ大学(ベルギー)、グラスゴー大学(英)、エジンバラ大学(英)、オークランド大学(米)、パリ第11大学(仏)、ジョージ・ワシントン大学(米)、ドレスデン工科大学(独)、ノースウエスタン大学(米)、国立交通大学(台)、国立台湾大学(台)、南京大学(中)、モスクワ大学(露)、北里大学、Jahangirnagar大学(バングラデシュ)、コーネル大学(米)、カリフォルニア州立大学ロングビーチ校(米)	20	生物学 10 コンピュータサイエンス 2 工学 3 数学 1 物理学 4
2014	エイン・シャムズ大学(エジプト)、オーバーン大学(米)、カリフォルニア工科大学(米)、コーチン科学技術大学(印)、インド科学教育研究所カルカッタ(印)、神戸大学、南京大学(中)、奈良先端科学技術大学院大学、国立陽明大学(台)、お茶の水女子大学、大阪大学、南イリノイ大学カーボンデール校(米)、SRM大学(印)、ストーニーブルック大学(米)、首都大学東京、ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン(英)、カリフォルニア州立大学バークレー校(米)、ケンブリッジ大学(英)、エセックス大学(英)、マドラス大学(印)、マサチューセッツ大学(米)、オスナブリュック大学(独)、ウィスコンシン大学マディソン校(米)、ワイツマン科学研究所(イスラエル)	27	生物学 12 化学 2 コンピュータサイエンス 1 地球科学 1 数学 1 物理学 10

**質問項目3 教育体制及び方針・手順**  
**質問項目7 博士課程プログラム**

○ OIST教員の外国人比率

	OIST			日本国内大学		
	教員数	外国人教員数	外国人教員割合	教員数	外国人教員数	外国人教員割合
合計	46	32	69.6%	180,879	7,290	4.0%
学長・副学長	9	7	77.8%	1,862	22	1.2%
教授	12	6	50.0%	69,176	2,191	3.2%
准教授	25	19	76.0%	42,836	2,094	4.9%
講師	0	0	NA	20,659	1,623	7.9%
助教	0	0	NA	40,518	1,199	3.0%
助手	0	0	NA	5,828	161	2.8%

出所:学校基本調査(文部科学省 平成26年5月1日現在)

## 質問項目4 教員の採用

---

### ○ 教員の採用時のプロセス

#### (1) 外部者の評価を最も重視した選考プロセス

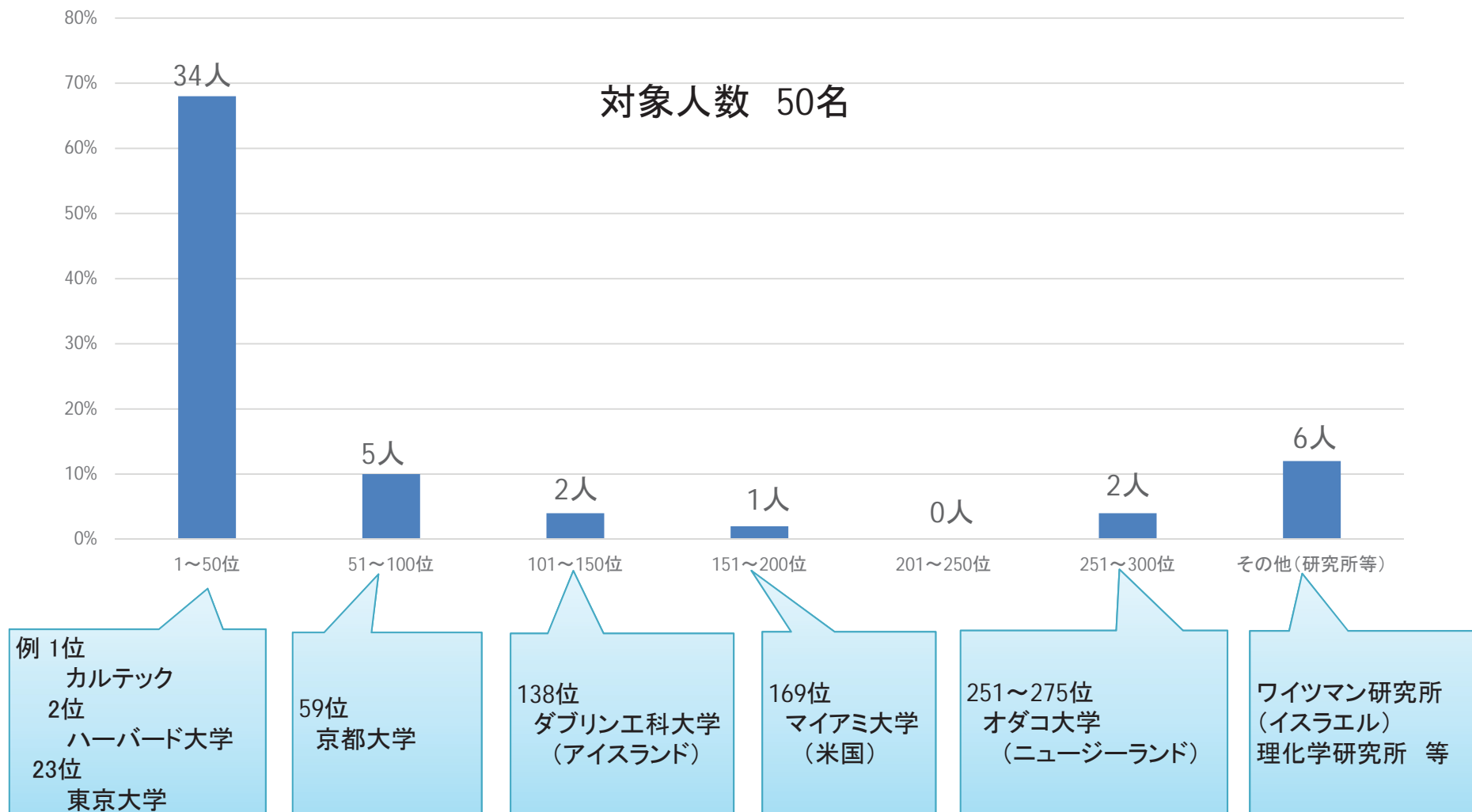
- ①サーチ・コミッティー(教授会メンバー3～5名、学外者を含めることも可(ただし、議長は教授会から選出))により、任用についての評価・推薦を実施
- ②学外の評価者から、テニユアを有する職位に係る任用には8通、テニユア無しの職位に係る任用には4通の書簡を必要とする
- ③サーチ・コミッティーの審議結果は、教員担当学監を通じて学長に提出
- ④承認を得るために必要な2段階の審査
  - 1)学長による審査
  - 2)理事会による最終承認

#### (2) 世界最高水準とするための厳しい選考基準

- ①各研究分野において世界のピアグループ(候補者の研究分野における世界中の研究者集団)の上位5～10%以内に入ること
- ②質の高い授業を計画し、実施していくことができる質の高い教育歴があること

## 質問項目4 教員の採用

(参考) 教員の前職大学



タイムズ・ハイアー・エデュケーション「世界大学ランキング2015」の順位により内閣府作成